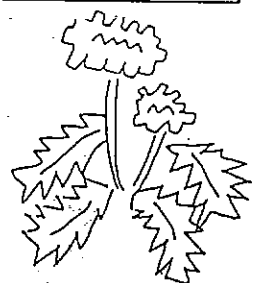


たんぽぽ

NO. 186

H14年12月1日
—発行—
7869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100



グループホーム研修会

施設長 松田 健

先日 島根県で行われた第8回全国グループホーム研修会に参加しました。

定員の2倍の600名近くに参加があり、関心の高さが窺えます。お陰でホテルが満杯で汚いビジネスホテルのベットがピタッとくっついていてインの部屋に二人で泊まることとなりました。

内容的には素晴らしく、本当に参加してよかったと思えました。以下できるだけ復元します。

知的障害者地域生活援助事業(グループホーム)は、1989年にスタートしました。この制度のねらいと将来展望について、制度化と同時に発刊された「グループホームの設置・運営ハンドブック」をみますと、「グループホームは無限の可能

性を秘めていると言つてよいでしょう。知的障害のある人の

地域生活は、グループホームによつて可能になるのです。障害

の重い人も、高齢の人も、地域生活の中で堂々と暮らせる日本の社会を、一日も早く築きたいと思ひます。今回の制度化は、

そのための第一歩です。と高らかに宣言されており、当時のこの制度に対する期待と意気込みがひしひしと伝わってきます。

それから十三年がたちました。グループホーム制度は大きな広がりを見せるようになり、

国制度で約2500カ所、地方自治体や無認可のものも合わせますと三カ所所近くなって、

入居している人たちも一万二千人を越えるまでになりました。

少々長くなりましたが、本大会目的の部分の一部抜粋しま

広がりをみせているグループホームですが、十五年度の予算をみてもほとんど増えていません。2倍、3倍と増えたなら、確実に状況は変わっていきます。国は施設入所者の一割を

毎年地域へ出すようにと言っています。国は施設入所者のお金は使われないつもりのお金は大

きな矛盾を感じるのは私だけではないと思ひます。

1日目グループホームをいくつか見学しました。利用者のいきいきとした顔を見るたびに何とかして推進していきたいと思ひます。四十歳以上の

人たちが8人ぐらいで生活する家がありました。グループホームでなく、生活訓練棟でもあり

福祉ホームや通勤寮でもありません。施設外に措置のまま

職員一人を配置してどうしてできるのか不思議です。四十歳

を過ぎている人でグループホームでの生活は無理がある、しかし、一生施設にいる人たち

はないといった方が対象で年金を貯めて自分たちの家を共同出資で建てようという趣旨

のようです。制度にないものを自ら作り上げていきました。この親の会が親が亡くなったなら親の会があつたと見ると決

めており、自分たちの世代が終われば次の世代へと引き継ぐことを約束していません。職員配置

についても親のバックアップがあるようです。驚くことばかりです。失礼ですが島根県は

でも田舎でした。なのに、考え方やシステムはとても先進的

でした。2日目 「新たな時代に向けてのグループホームの役割と将来展望」というテーマでのシンポジウムがありました。両名とも「知的障害者」である藤川夫婦もシンポジストとして参加されました。家事はほとんど出来ないため、ヘルパーや世話人、施設職員が援助しています。ある日、「世話人はいらぬ。自分たちだけでする。」と宣言

したそうですが、しばらくして自分たちだけでは無理だと悟ったとのこと。藤川さんの奥さんが最後に「いっぱいグループホームを作して下さい。」とつまりながら発言されたところが印象的でした。会場からわれんばかりの拍手がおこりました。

北信圏域障害者支援センター所長の福岡 寿氏の講演はわかりやすく、おもしろく、あっという間に時間が過ぎていきました。

施設でほとんど問題をおこしたことはないAさんにグループホームの話を持ちかけたところ「私はいいです。」と固辞しました。それでも適任だということ「いやだったらすぐに戻ってもいい」という条件で決ま承諾しました。一泊した次の朝、Aさんが所長室の前に立っているのを見て、福岡さんは「駄目だったのか。」と思ったのですが、彼は「長い間お世話になりました。施設には二度と戻りません。」と言いました。彼によると施設に入所していた数年間熟睡したことがなか

ったが昨夜は全く覚えていないほどに熟睡した。いつも寝ていても必ず見回りの時に起きる。それから眠れなくなることも珍しくない。特に若くて好きな職員の時は近づいてくるスリッパの音でわかるし、一睡もできないこともあったということです。施設職員として考えさせられました。

コーディネーター事業の先進者である福岡さんについてはぜひとも著書を読んでいたいただきたいと思えます。新しい発想が随所にちりばめてあります。《推薦書「コーディネーターがひらく地域福祉」施設と地域のあいだで考えた「ぶどう社」》

3日目 第3分科会に参加しました。「施設から地域への移行とバックアップ施設の役割」というテーマのもと、2名からの提言がありました。助言者であった室崎さんは今回見学させていただいたグループホームのバックアップ施設である「桑の木園」の施設長です。親

でもある彼女は「親亡き後も安心して任せられるシステムを今築き上げないと死ねない。

施設に入れたら終わりではない。親亡き後のためにもうひと踏ん張りしなければいけない。社会資源を活用するためには社会を変革しなければ駄目である。残された時間は少ない。一緒に立ち上がりましょう。」と言われました。

グループホームは小さな施設だという意見があります。そうかもしれませんが。しかし、4人部屋と個室、大人数との共同生活と4人との生活とを比べて下さい。選択肢の一つとして必要ではないでしょうか。そして、グループホームも単なる通所点なのかもしれません。遅ればせながら、三気の里でもグループホームを推進していきたい、強い願望をこめてそう思います。

後援会ありがとうございます

上村 才司・田浦 章恵
早川 秀希・上村 雅一
中道 慶龍・谷山 孝子
松原 明子
(敬称略)



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円

団体は、一万円より



療育雑記

スポーツクラブを通して

樋本 英也

私は、三気の里に勤務し、今までずっとスポーツクラブを指導しています。私にとつてのスポーツ感は、勝負の楽しさ、ストレス解消といった楽しさ、プラスのイメージが先行してきます。ただ三気の里の利用者にとつてのスポーツ感というと（本人達に確認した訳ではないのですが）きつい、面白くないといったマイナスのイメージがつい最近まで強かった感があります。スポーツクラブの職員みんなでも良いから興味を示してくれるような競技がないかといろんなこと（野球、サッカー、バトミントンなど多数）にチャレンジしてきました。でもルールを理解することが難しかったり、ボールが怖かったりなどで正直な所、嫌々やっているとというのが現状でした。そこで一昨年よりもう少し単純で利用者の人達が取り組みやすい競技に変更してみようと思ひ、ジョギング、グラ

ンドゴルフの2競技に絞って現在取り組んでいます。また（職員の反省でもあるのです）もつと対外的なスポーツ大会に参加するようにしました。（輝き大会、駅伝大会：運動公園、グランドゴルフ大会、大津ジョギングフェスティバルなど）そういった取り組みの中で利用者の人達に少しずつ変化が見られ、多くのことを体験し、得る事が出来たように思ひます。

①行ったことのない所に出かける喜び、（いつも同じ所でスポーツするより違った場所です）スポーツする方が楽しいです（よね）②大会を通していろいろな人達との出会うこと、③いろいろな人達から応援されること、④応援されることで“自分”という人間に自信、自覚が出てくること、⑤保護者の方がその頑張っている姿を見て我が子の見方が変わり、認められ、家族の絆が深まること、（昨年の駅伝大会で我が子のあんな真剣な姿は、初めて見たと感動されていました。）といったスポーツの本質を楽しむ他にたくさんの副産物を得る事が出来ました。スポーツは、今までは、利用者にとつて、きついという段階でとどまっています。だが、一歩前進して、きついけどその向こうにたくさんの楽しいことがあることを身に染みて体験出来たと思ひます。私のひいき目かも知れませんが、以前より意欲的に練習に取り組んでいる感があります。きっかけは、何でも良いのでやりたいと思う気持ちを持つてくれた事は、うれしい限りです。またきついけど頑張る姿勢というのには、作業においても頑張れば給料がたくさん貰えるといったことに繋がって来るでしょうし、きつといろんな面で良い効果が出てくるものと信じています。

スポーツには、健康の保持増進、勝負の楽しさ、ストレス解消といったもの他に前述のようなことを体験することが出来ません。特にいろいろな人から期待を受けることで“やりがい”を見いだすことは、特に重要な事かもしれません。今年もまだ色んなスポーツ大会の開催が予定されています。職員、保護者の方が協力して色んな大会に参加し、いずれかのものを利用者が得て貰えば、それだけで本人のさらなる成長に結び付くと思ひます。みんなでもつとつとスポーツを楽しみ、身も心も健康で居続けるように頑張っていきましょう。

食堂営業中



先日、開園記念祭が行われました。今回、保護者での出店があり、販やかな飲食コーナーになりました。厨房は、炊き込み御飯を作りました。売れるかどうか心配しましたが、おかげさまで完売！ポツブコーンも森の子供会の皆さんと担当しましたが、場所が目立たなかったかも…）売り始めは、いまいち。そこで、子供達の出番！大きな声で宣伝や出前出店をして頂いたお陰で、売り上げを伸ばす事が出来ました。寒い中、ありがとうございます。お疲れさまでした。

金丸



班にゆーす



4班・今年のニュースベスト3

今年も残すところ1ヶ月となりました。今回は少し早いですが農耕班のベストニュースをお伝えしたいと思います。

3位 … るり子さん、隆博さん作業所へ

9月より作業所ができるにあたり、農耕班からはるり子さんと隆博さんが通勤することになりました。今までの農耕作業とは違い室内での作業ですが、様子を見てみると2人とも黙々と集中しており職人の雰囲気が出ていました。毎週土曜日に農耕班に参加すると、るり子さんは「作業所はいいよ〜！」とたくさんのお話を聞かせてくれます。

2位 … 委託販売

ついに念願の委託販売ができることになり、新鮮な野菜を納品しています。皆、納品の日はいつも以上に収穫が楽しそうです。今後は定期的に納品することが目標です。

1位 … 祝！！給料

8月より給料が支払われています。給料日の皆のうれしそうな顔は誇らしげで何とも言えません！うれしさのあまり給料袋を手放せない方や給料を貯めて欲しい物を買う計画をしている方もいます。

来年も農耕班一丸となりおいしい野菜作りに励みたいと思います。

石田

6班・…フユノサムサニモマケズ…

今年は冬の訪れが早く、半袖の生活からあつという間に「暖かく、重ね着」した生活になりました。仕分けの仕事も一気に倍増。毎日てんこ盛りの洗濯物と格闘を繰り返しています。仕分けの辛さもさることながら、冬の洗濯で辛いのはやっぱり洗濯干し。6班で洗濯物干しを受け持っているのは松島さんと富田さん、朝の10時からの作業とはいえ外はとっても寒いので、洗濯室の中で衣類をハンガーに掛けてから中庭の物干しへと運びます。掛けては運び、掛けては運び、たかが洗濯とあなどってはいけません。80人分の洗濯物ですからその量といったらはんばな量ではないのです。そんなことは気にも留めず、冷たい風に吹かれることにもめげず、せつせと働くお二人さん。風邪を引かないで頑張りましょう。

大賀

2班・寒い冬…

11月中旬より、来年の1月まで2班が取り組んでいた、果物用保護ネットの作業が工場の都合により、休止となりました。突然の失業です…

ネット作業の代わりにする作業を探し取り組んでいかなければなりません。とはいっても、このご時世、そう簡単に新しい仕事は見つからず…とりあえずは、環境整備のような外作業や、他の班の作業の手伝いをする事になりました。2班の皆にはしっかりと説明をし、1週間の予定を立ていざ外作業！！新たな作業に取り組んでびっくり！普段は身体を動かすことさえも嫌がる文彦さんが、自らすすんで積極的に目的地まで一輪車で土を運び、もとの場所に戻ってくるのです。そしてそのあとに続けと言わんばかりに、他の利用者も動き始めるのです。もう、その姿を見て感心しました。外作業ばかりではありません。他の班の手伝いで、紙すきに使う牛乳パックを切ったり、下請け製品の作業をしたりと、みんなの意外な面を見つけることができました。

1月末までの期間は能力開発の期間です。今まで取り組んでいなかった仕事にどんどんチャレンジしていきたいと思います。

岩本

5 班・続★博多体験

先月に引き続き 10 月の宿レク・i n 博多での様子をチョット詳しくお伝えします。

今回この旅行での最大の目的は公共機関を利用して博多の街を散策すること。一番数多く利用したのは西鉄バス。博多の観光スポットへ行くのはどこまでもほとんど 100 円。これは皆にとっても親切でわかりやすい。満員のバスに乗っても財布からコイン 1 枚出せば済む。乗る回数が増える毎に皆は自然と学習しました。バスに乗る前にお金を用意すればイイのだと。バス停に行くと誰が言うこともなく自ら財布からお金を準備し待つ。スゴイことです。もちろん地下鉄にも乗りました(林さんたつての希望で!)。これは驚きの連続。切符を買うまでは他でも経験がある。何よりも驚いたのが、改札機で切符が吸い込まれること。もう皆ビックリ。行きはまだ良かった。切符が戻ってくるから…。帰りは戸惑った。だって切符が出てこない!チョット混乱したネ。でもこれも経験。他にも初体験。全国でも有名な博多ラーメンの店「一蘭」に行きました。この店はとても親切。食券の買い方、注文の仕方、はたまた食べ方までが全部文字で提示してある。そして面白いのが全席カウンターでの個室。隣、周囲、店員さんの顔さえ見ることなくひたすらラーメンを味わう。いつもは必ず職員と一緒に食事もここだけは皆が思い思いに一人で食べる。そして一人でも食べれる環境がある。博多はすごかった。人も多し、乗り物も多い。でも誰にでも親切な街でした。熊本にも博多のような親切なことが増えると、みんな一人での外出も近いのになあ…なんて感じてしまいました。佐藤香

1 班・電車で GO!

寒い季節がやってきました。皆さん風邪などひいていませんか? 私達一班は、利用者、職員共に皆元気に過ごしています。さて早速今回の班ニュースですが、今月は先日行ったレクリエーションの話しをしたいと思います。今回は移動を JR などの公共機関を利用して出掛けることにしました。久しぶりに皆で JR に乗ったのですが、皆静かに乗ることが出来、笑顔の人も。乗り物自体に弱い人もいましたが、表情は硬いものの終点の熊本駅まで静かに乗っていました。熊本駅から交通センターまで徒歩で移動し、途中昼食を済ませ、センターボウルにてボウリングを行っています。熊本市内ということで、車の量も多く歩道が狭かったりと危険な場も有りましたが、日頃の集団行動等で経験していたこともあり危ない場面も無く移動できていました。帰りは市電に乗り熊本駅まで移動し、再び JR で大津駅まで帰ってきました。出発時より帰宅時の方が学生の数が多く騒がしいことも有ったのですが、皆さん疲れもあつたのか、居眠りする人も・・・何だか余裕すら伺えました。今回 JR を利用したことで、皆の成長ぶりと共に、園の公用車ばかりでなく色々な乗り物を体験し色々な所に足を伸ばしてみたいなあと思改めて感じました。数々のレクリエーションにて電車、船、飛行機と経験しています。さて次は…?! 宮原

3 班・大忙し

この不況の中、今 3 班は大忙しです。と言うのも 3 班の製品が結婚式の引き出物(土産)として多数のご注文を戴いたことと下請けの作業も上手に早くできるようになり、たくさん戴けるようになりました。まず製品の方ですが、お買い上げ戴いているのはタイルの押しピン、木工のキーホルダーや押しピン、マグネット、タイルのコースター、木工のペーパースタンドなど様々ですが、結婚式で使われるとあって、皆幸せを願って気持ちを込め(普段は付けないリボンも付けています)作っています。

下請けの作業の方は、皆が参加、協力出来るようにと一工程ずつ流れ作業をしています。勿論、一人で全工程出来る人もいるのですが、一工程ずつ行った方が効率も良く正確で早く出来ます。作業のときの皆の顔はとても真剣でキリッとカッコ良く、一見の価値あります。

こんな感じで毎日、忙しく作業を頑張っています。

菊池

事務だより

朝晩の冷え込みが身にしみる季節となりました。

バイク通勤している私にとっては直に寒気が肌にしみます。しかしながら、紅葉は美しく、空気も澄んでいるので、大自然を満喫しながら日々を過ごしています。

皆さんは既に秋の風を味わいましたか？

そして今からは冬の味が楽しめますよ！！これから更に寒さ増していきます。利用者も職員も重ね着等をしてこもこ状態になって寒さを凌いでいます。

皆さんも季節の変わり目ですので体調にはお気をつけて。 小野



地域交流支援科

大石由紀

去る11月9日、三気の会の開園記念祭が催されました。この会を催すに当り、今年も地域を始め多くの企業や多くの方々にご多大なるご支援を頂き、無事に終了を迎

えることができました。昨年より大きく形を変え「地域交流」を目標とした開園記念祭ですが、今年

2回目を迎え、また新たな出発を遂げる事ができたように思います。中でも、今回は会の主体に保護者が在り、それを支える△Oさんが居ました。私たち職員や利用者だけでなく、三気を取り巻く多くの方々がそこに在った事、そして、その力を存分にお借りする事ができた事で盛会を迎えることができ

た事は言うまでもありません。これまで日々の生活の中で感じていた大きな力を今回改めて痛感しつつ、心強く感じた今回でした。三気にとつての財産は、こうした「人」の存在です。この貴重な財産がいつまでも耐えることなく、三気を支えてくれる存在として互いに歩んでいけるよう、我々は努力を惜しまず努めて行きたいと思

います。開園記念祭の終了に際し、この場をお借りして改めて御礼申し上げますと共に、今後もご支援のほど宜しくお願い致します。



就労ケア科だより

両角 彰則

寒さが厳しくなっていますが、作業所の皆さんは園からサンサン工房まで元氣良く出勤されています。作業も順調に進んでおり、給料を楽しみにしている利用者の方は5日の日になると朝から表情が「ニヤニヤ、ワクワク、ドキドキ」落ち着かない様子です。

先月、給料を持って昼食を皆で外食しています。給料を手にし、何を食べようか心を弾ませ楽しみにしていました。ケンタッキー・フライドチキンで、自ら給料を手にし、注文をして会計を済ましています。職員の間を気にしながら、少なめに注文しているようで、「それだけでたりなの？もう少し注文していいよ」と言うと、今度は逆に多すぎてしまっていたようです。毎月給料をもらい、何を買おうか、貯金しようか悩みながら仕事を頑張っている皆さんです。



十一月出張・研修報告

・ 十月二十七、二十八日 片倉先生ケースカンファレンス

・ 十一月六日

熊本県障害者福祉作業所連絡協議会指導員研修会

大石 由紀

・ 十一月二十二日

小型ボイラー取り扱い研修

佐藤 和也



三気の里メールアドレス紹介

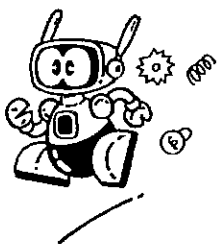
三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。

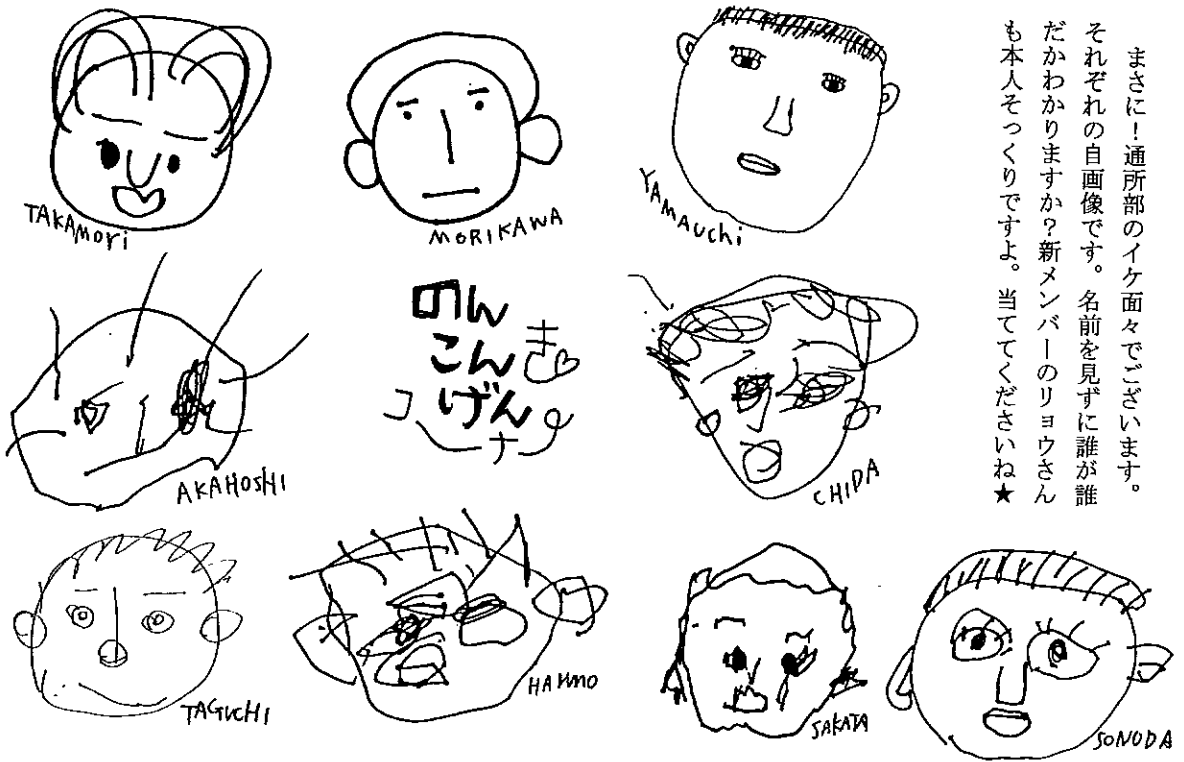
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~sanki>

sanki

E-mail sanki@siren.ocn.ne.jp



まさに！通所部のイケ面々でございます。それぞれの自画像です。名前を見ずに誰が誰だかわかりますか？新メンバーのリヨウさんも本人そっくりですよ。当ててくださいね★



通所部通信

通所部の面々 ～パートII～

前回に引き続き、通所部のメンバーを紹介したいと思います。

1人目は、田口さん。通い始めて、1年半が経ちました。通所部に通い始めた頃は、中々落ち着いて過ごす事が出来ず、不意に集団から離れた時、時々伝えてくる要求も単語だけのものでした。その為、通所当初から、きちんと二語文(二語文)伝える事を目標に頑張ってきました。現在でもまだ、言葉はおぼつかないものの、「○○さん、××を下さい。」「○○さん、トイレに行つて来ます。」と、確実に人に伝えようとする意識ができています。

また、6月頃から金曜日の帰りには、なんとも嬉しそうな表情で「明日、休み〜！」とVサインをして帰るようになりました。彼も私達と同じように仕事を頑張る、休日が本当に嬉しいんだらうなと感じています。

次に紹介するのは、通所部最年少17歳の千田さんです。彼も田口さんと同時期に通い始め、1年半が経過しました。環境の変化や

周囲の騒々しい雰囲気も苦手で、通所当初は慣れない雰囲気の中、毎日のように自傷が続いていました。そして、今年度始めに大きく様変わりした通所部。始めは、戸惑っていた感じがありましたが、その環境にも二週間程度で慣れ、落ち着いてきました。現在でも、大きな行事は苦手ですが、普段の生活の中では殆ど自傷もなく、落ち着いて過ごせるようになってきています。

また、作業の中では、サインで終了や資材の補充を知らせるよう練習をしてきました。そのサインが定着してきた事で、作業以外の場面でも、トイレをサインで伝える事が出来るようになったり、視線で訴えたりと、生活の面でも職員存在を意識し、色々な広がりを見せてきています。

岩田



12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1	2	3	4	5	6	7	
	創さん誕生日(35) 敬一さん誕生日(36)	◎内科健診	園 3班レク	園 4班宿レク			
8	9	10	11	12	13	14	
		園 1班レク 文彦さん誕生日(37)	園 5班レク 憲幸さん誕生日(31)	園 誕生会		餅つき 家族会	
15	16	17	18	19	20	21	
	高志さん誕生日(26)	園 2班レク	/ たんぼは福集日	園 6班レク	園 クリスマス会 陽治さん誕生日(35)	◎ 冬季帰宅訓練	
22	23	24	25	26	27	28	
	天皇誕生日						
	素彰さん誕生日(32)			昭子さん誕生日(28)			
29	30	31	園 敬一さん・創さん・文彦さん・憲幸さん・高志さん・陽治さん 素彰さん・昭子さん・修一さんお誕生日おめでとう!				
		1/5(日)まで	◎3日 内科健診 園12日 誕生会 園14日 餅つき 園20日 クリスマス会				
	修一さん誕生日(36)						



ポランテア通信

三気の里で一番のイベントである開園記念祭も終わりの段落といった感じです。今年もたくさんのポランテアの方々に来ていただき大変有り難く思っています。また十二月十四日には三気の里でもちつき大会を予定にしていますので、皆さん是非遊びに来てください。たくさんの方のお越しを待ちしております。 石井

☆ポランテアありがとう
☆開園記念祭

山部裕輝・秋吉裕美
西嶋亜希・引方優桂
千田誠・松川恭子
松岡俊太・岡本直樹
黄檗由美・谷崎真富果
光本幸司・山田隼太
満原隆治・中林宏二
橋口彩子・久々山壮大
小河礼佳・中尾利理
三浦志穂・村上かおり
石原優子・上田亜由美
永田理恵・林谷由起子
中島由莉・福本あゆみ
杉水社乃・今村有希
山内亮二・増田真里

江口孝二・小崎亜希子

磯部武志・衛藤奈緒美
築木美紀・井手美有紀
水上美加・阿瀬知隆二
渡辺太郎・阿瀬知秀子
高宮桂・瀧井スミ子
麻生扶美・石丸カツエ
岩元庸満・村上すみ江
川原正子・芹口由美子
緒方武・山田千恵子
赤瀬安香・田尻トモ子
南信代・渡辺享子
井川弘美・吉良順子
谷方寛子・合志君代
澤田理美・橋本雅貴
田頭慎二 (敬称略)
井川マリコ

☆演奏ポランテア
☆生け花

西村 栄子
(敬称略)

編集後記

ワープロからパソコンに変わり悪戦苦闘している皆さんです。私も早くパソコンが使えるように頑張ろうと思います。編集室で「ジンジャー・ジンジャー」と編集長の歌声が聞こえています。佐藤和